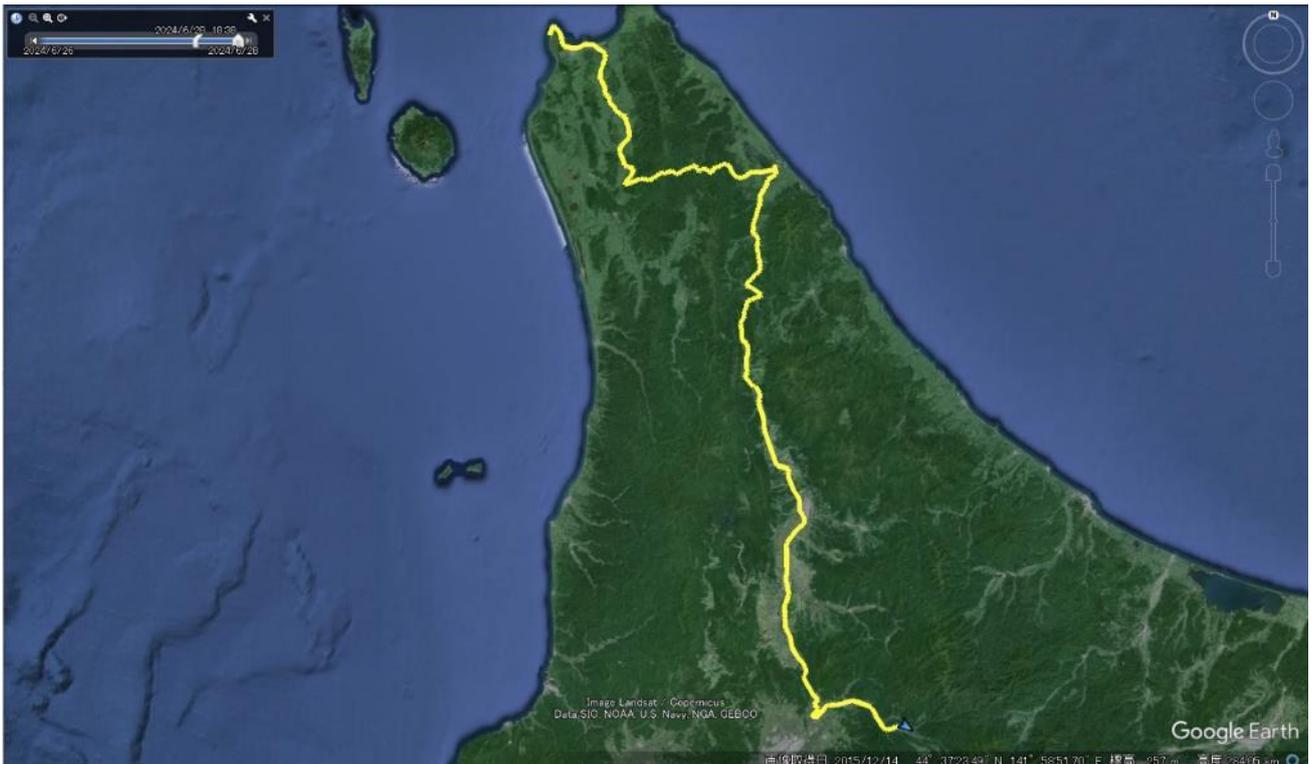


☆3日目（6月28日）：稚内から上川まで



行程地図（3日目）_記録 OLYMPUS TOUGH TG-6

宿で朝食を頂き、稚内をあとにした。昨日、宗谷岬を見学したので、予定を変更して内陸の道道121で山を抜けて浜頓別まで行くことにした。内陸に入ると霧がでて、標高の高いところは雲の中という感じで結構濡れてしまった。道は、牧草地帯を縫って進む道で、放牧している牛がたくさん居た。



写真 61. 「しずや」の朝飯



写真 62. 道道121の牧草地帯

豊富町で道道84を浜頓別に向かう。「トナカイ牧場」の看板があったので寄りたかったが、まだ開園前と思ったので、諦めた。道道84は細い道だったが、きれいに整備されていた。

しばらく進むと左に一瞬クッチャロ湖が見えたあと、すぐに浜頓別に着いた。オホーツク海側に出ると天気は一気に回復して、暑くなった。

「道の駅 北オホーツクはまどんべつ」に寄って休憩。白鳥と豚のゆるキャラ「スワットン」を、たくさん見かけた。



写真 63. 豊富町の交差点



写真 64. 道道 84 は細い



写真 65. 道の駅 北オホーツクはまとんべつ



写真 66. 濱頓別のスワットン

前回、濱頓別から斜里まで海岸線沿いを走っているの、ここから国道 275 で内陸を走った。中頓別で、珍しい和・洋館建築の「旧丹波屋旅館」が目にとまり停車。国登録有形文化財となっている。

あまりに暑くなったので、予定外の「道の駅 びふか」によって、ミルクとアーモンドのミックスソフトを食べてクールダウン。

裏には、池、温泉施設やチョウザメの養殖施設もあるようだった。ソフトを食べている時、道路の反対側の草むらを狐が歩いて行った。



写真 67. 和・洋館建築の「旧丹波屋旅館」



写真 68. 道の駅「びふか」のソフトクリーム

次の休憩は「道の駅 なよろ」。煮込みジンギスカンが有名な駅なので、レストランの前に巨大な煮込みジンギスカンサンプルが飾られていた。ただこの暑い季節にはオーダーが無いのか、メニューに無かったので、「豚ロースデミかつ定食」を食べた。この辺は、町ごとに道の駅がある。現在北海道には、127カ所もあるようだ。



写真 69. 道の駅「なよろ」の煮込みジンギスカン



写真 70. 「豚ロースデミかつ定食」

しばらく北海道らしい牧草風景を走りながら、次の休憩場所「道の駅 絵本の里 けんぶち」に立ち寄った。剣淵町は、絵本の里として町おこしをしていて、剣淵町をテーマにした絵本の主人公の「ムーニャ」が乗った郵便ポストがあった。



写真 71. 道の駅 絵本の里 けんぶち



写真 72. 道の駅入り口とムーニャポスト



写真 73. 麦畑



写真 74. 牧草地

道央まで南下してきて、東に向かう分岐の町が、家庭用磁気治療器「ピップエレキバン」の今は亡きピップ社の会長と女優樹木希林さん出演のCMで有名になった比布駅が有る町。駅に立ち寄り、駅のリニューアル時に樹木希林さんが贈った色紙をみてきた。



写真 75. 比布駅



写真 76. 駅前の顔出し看板

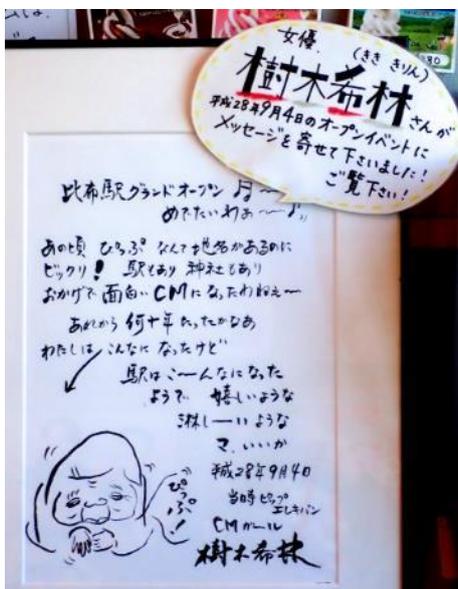


写真 77. 樹木希林さんの氏色紙

比布からは、ナビで高速道路を使わない設定にしても、高速道路無料区間に導かれてしまう。今日の宿泊地に早く着きそうなので、暑さをしのぐためにアイスパビリオンに寄り道をした。-20℃、一部-41℃が体験できる施設。なんか閉店した観光施設の傍らで細々営業していた。入り口で渡された濡れたタオルが中ですぐにカチカチに凍ってしまうほどの寒さ。暑い日にクールダウンするには、最適な施設だった。

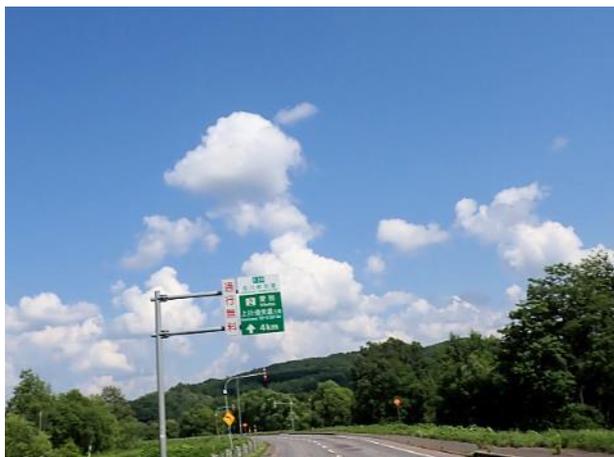


写真 78. 高速の無料区間



写真 79. アイスパビリオン



写真 80. 濡れたタオル



写真 81. 凍ったタオル



写真 82. 中は氷の世界

上川の宿泊場所カミカワホテルに着いてから、市内を散歩。ここは、スキージャンプの高梨沙羅選手の故郷とあってそこから中のぼりが立っていた。遠くに雪の残る大雪山が見える静かでいい町だった。ホテルの隣がコンビニなので、素泊まりでも食事には困らない。



写真 83. カミカワホテルと高梨のぼり

ホテルと言う名前だが、ゲストルームと同じで共用スペース、シャワールームがある。セイコーマートのお弁当は、ボリュームはあるが、味はそこそこ。



写真 84. 遠くに大雪山を望む

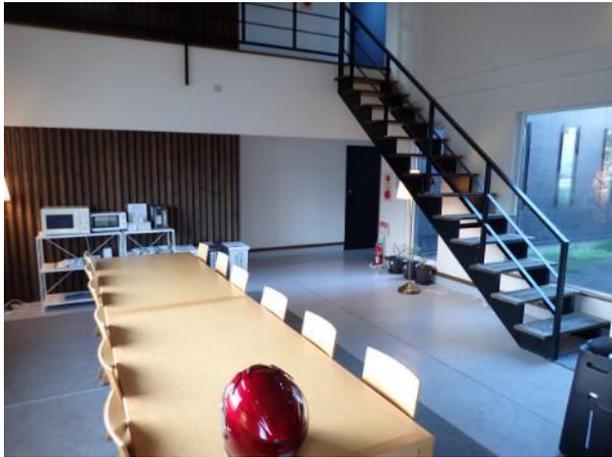


写真 85. ホテルの共用スペース



写真 86. セイコーマートのお弁当